TOSHIBA

東芝電気保温ポット（家庭用）

取扱説明書

形　名

[2.5Lタイプ]

PLK-25FJ

[3.0Lタイプ]

PLK-30FJ

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは東芝電気保温ポットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- 電気保温ポットは湯を沸かす商品です。この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

●商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*[1]を負う可能性が想定されること」を示します。

「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*[2]を負うことが想定されるか、または物的損害*[3]の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁 止

⦸は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指 示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注 意

△は、注意を示します。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグ・マグネット式プラグを抜き差ししない

感電やけがの原因になります。

禁 止

水以外のものを沸かさない

お茶・牛乳・酒などは沸きあがるときにふき出してやけどをする原因になります。

禁 止

蒸気口をふきんなどでふさがない

湯がふきこぼれ、やけどやふたの変形、故障の原因になります。

禁 止

氷を入れて保冷用に使わない

結露が生じ、感電・故障の原因になります。

接触禁止

蒸気口に手を触れない

やけどをすることがあります。
特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。

確実にしめる

ふたを確実にしめる

倒れたときに湯が流れ出て、やけどをする原因になります。

禁 止

ふたを勢いよくしめない

湯がふきこぼれ、やけどをする原因になります。

ほこりを取る

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でふき取る

火災の原因になります。

禁 止

満水目盛以上の水を入れない

湯がふきこぼれ、やけどをする原因になります。

無理な扱い禁止

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁 止

傾けない

出湯キーがロックされていても、本体が傾くと注ぎ口や蒸気口などから湯が流れ出て、やけどをする原因になります。

禁 止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがの原因になります。

禁 止

ポットを転倒させない

出湯キーがロックされていても、本体が転倒すると、注ぎ口や蒸気口などから湯が流れ出て、やけどをする原因になります。

使用禁止

コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。

禁 止

マグネット式プラグをなめさせない
乳幼児が誤ってなめないよう注意する

感電やけがの原因になります。

禁 止

ふたを付けたまま残り湯などを捨てない

ふたがはずれたときに湯などがかかってやけどをする原因になります。

水ぬれ禁止

ふたや本体は水につけたり、水をかけたりしない

丸洗いしたり、流し台などで底面をぬらしたり、底面がぬれたまま本体をさかさにしたりしない

コードセットはぬらさない

ショート・感電・故障の原因になります。

禁 止

ふたを持って移動しない

注ぎ口や蒸気口などから湯が流れ出たり、本体がはずれ落ちて、やけどやけがをする原因になります。

禁 止

ゆすったり、強い振動（特に上下の振動）や衝撃を加えない

出湯キーがロックされていても、本体をゆすったり、強い振動や衝撃を加えると注ぎ口や蒸気口などから湯が流れ出て、やけどをする原因になります。

根元まで差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。

交流100Vのコンセントを単独で使う

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う

交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。

禁 止

マグネット式プラグにピンなど金属片やごみを付着させない

感電・ショート・発火の原因になります。

（つづく）

⚠注意

プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない
火災の原因になります。

プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートして発火することがあります。

禁止

湯沸かし中や保温に切り換わり直後に湯を注いだり、ふたを開けたりしない
蒸気や湯の飛び散りで、やけどの原因になります。

接触禁止

ふたを開けるとき出る蒸気に触れない
やけどの原因になります。

禁止

出湯中に本体を回さない
湯が飛び散り、やけどをする原因になります。

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。
禁止

禁止

本体を持ち運ぶときは、ふた開閉レバーに触れない
ふたが開いてけがややけどをすることがあります。

接触禁止

使用中や使用後しばらくは高温部に触れない
やけどの原因になります。

禁止

専用のコードセット以外は使わない
コードセットは他の機器に転用しない
故障・発火の原因になります。

冷えてから行う

お手入れは冷えてから行う
高温部に触れると、やけどの原因になります。

禁止

荷重強度が不足しているスライド式テーブルでは使わない
スライド式テーブルが破損してポットが落下し、けがややけどの原因になります。

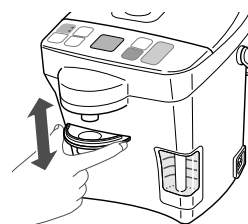
荷重強度は、2.5Lタイプで7kg以上、3.0Lタイプで8kg以上のものをお使いください。

お願い

- 底部はぬらさないでください。
  ぬらしたまま本体を逆さにすると、本体内に水が入り故障の原因になります。
- ラジオなどの近くで使わないでください。
  ラジオ、テレビなどへの影響のないところまで離して使ってください。雑音などが入るおそれがあります。
- 火気の近くで使わないでください。
  本体の故障、変形の原因になります。
- 蛇口から直接給水しないでください。
- 操作表示部側から湯を捨てないでください。
  故障の原因になります。
- 残り湯は必ず捨ててください。
  放置すると腐食や変色の原因になります。
- 湯を捨てるときは注ぎ口に触れないでください。
- キッチン用収納棚などの上で湯沸かしをする場合は蒸気が天井部分に当たらないように注意してください。
  変色や変形の原因になります。

各部のなまえ

出湯口カバーの取り付けかた／はずしかた

コードセットをはずして、本体が冷えてから行ってください。

取り付けかた
- 出湯口カバーの両端を持って金属部を注ぎ口に近づけると、磁石の力で本体にくっ付きます。

はずしかた
- 出湯口カバーの両端を持って下に引くとはずれます。

お願い
- 注ぎ口に手を触れないでください。
- 注ぎ口付近にスプーンなどの金属を近づけたり、出湯口カバーの金属面と本体の間にごみを付着させたまま取り付けないでください。磁石の力が弱くなり、出湯口カバーが付かないことがあります。

（つづく）

ブザー音について

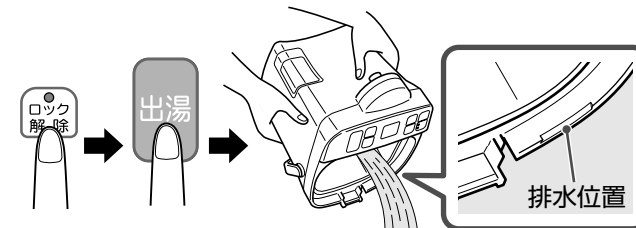
キーを押すと「ピッピッ」や「ピッ」などの音がします。
この音は操作を正確に行うための手助けとなります。

キー							
再沸とう カルキ抜き	ブザー音	ピッピッ →	ピッ →	（ピッピッ ……）			
	設定	再沸とう	カルキ抜き	（再沸とう）			
タイマー	ブザー音	ピッ →	ピッ →	ピッ →	ピッ →	ピッピッ →	（ピッ ……）
	設定	4	6	8	10	切	（4）
保温選択 クエン酸洗浄	ブザー音	ピッピッ →	ピッ →	ピッ →	（ピッピッ ……）		
	設定	「90」保温	「60」保温	「98」保温	（「90」保温）		
ロック 解除	ブザー音	ピー →	ピッ →	（ピー ……）			
	設定	ロック解除	ロック	（ロック解除）			

湯を沸かす

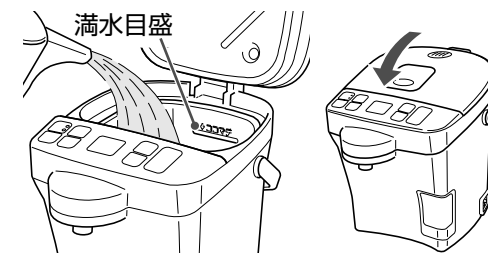
初めてお使いになるとき（長期間使わなかったとき）

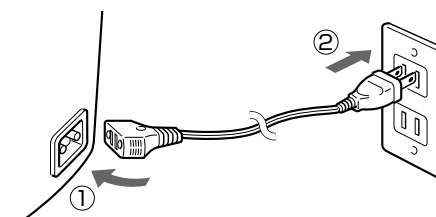
以下の手順にしたがって、容器内をお手入れしてからお使いください。

1 湯を沸かす（7ページ参照）
2 約半分の湯を注ぎ口から出湯する（9ページ参照）
3 「お使いにならないとき」の手順にしたがって、ふたをはずして排水位置から残り湯を捨てる（11ページ参照）

1 ふたを開ける

● ふた開閉レバーの「押す」を押して指をかけ、持ちあげます。

2 水を入れ、ふたを閉じる

● 水はやかんなどで入れてください。
水道水の蛇口から直接入れないでください。
水があふれるとショート、感電の原因になります。
● 満水目盛以上水を入れないでください。
湯がふきこぼれ、やけどをする原因になります。
● 熱湯を入れると空だき防止機能がはたらくことがあります。
● ふたをしめるときはパチンと音がするまで確実にふたを押してください。

3 コードセットを接続する

● マグネット式プラグにピンなど金属片やごみが付着していないことを確認してから接続してください。

4 保温選択温度を確認する

● コードセットを接続すると保温温度は節約保温の「90」が自動的に選択されます。
● 保温温度を変更する場合は10ページの保温温度の設定を参照ください。

▶ 沸とうランプが点灯し湯沸かしを開始
▶ 沸きあがると、保温ランプが点灯

沸とう● 保温○ タイマー 再沸とう カルキ抜き 保温選択 クエン酸洗浄 3秒以上押す 給水 洗浄 カルキ抜き タイマー 20 98 90 60

・沸きあがるまで　2.5Lタイプ：約20分、3.0Lタイプ：約25分

保温温度の設定

●水を入れてふたをしめ、コードセットが接続されていることを確認する

保温選択 クエン酸洗浄 を押して保温温度を選ぶ

- コードセットを接続すると、保温温度は節約保温の「90」が自動的に選択されます。
- 押すたびに、保温表示（▶）の位置が移動します。

▶ 保温温度を選ぶと保温表示（▶）が2秒後に点滅から点灯に変わる

- 表示部は5℃きざみで湯温を表示しますが、95℃以上は「95」→「98」→「100」と表示します。
  10℃未満は「Lo」と表示します。
- 表示温度は目安です。湯量や室温によって変わることがあります。

保温温度	用途
98	コーヒー・紅茶 カップめんなどに
▶90	節約保温
60	ミルク作りなどに （粉ミルクを溶かしてから適温まで冷ましてください）

保温温度「98」を選んだとき

▶ 沸きあがると沸とうランプが消えて保温ランプが点灯し、「ピーピーピー**ピー**」とブザーで保温開始をお知らせ

▶ 保温温度になると、表示部に「98」を表示してお知らせ

保温温度「90」「60」を選んだとき

▶ 沸きあがると沸とうランプが消えて保温ランプが点灯

▶ 保温温度になると、「90」保温は「ピーピーピー**ピー**」とブザーで、「60」保温は表示部に「60」を表示してお知らせ

- 「90」、「60」保温を開始後に保温温度を「98」に変えると、一度沸とうしてから「98」保温に切り換わります。

沸き上がりから選んだ保温温度になるまでの時間（水量：満水/室温、水温：20℃）

保温温度	「98」になるまで	「90」になるまで	「60」になるまで
PLK-25FJ	約3分	約33分	約3時間10分
PLK-30FJ	約4分	約40分	約3時間30分

お知らせ
- 高地での使用や気圧の変化で沸とう温度が変化します。また、保温温度も変化します〔「98」保温の場合〕。
- 室温が高い場合、沸とうしてから設定温度になるまでの時間は長くなります。
- 保温温度は保温中でも切り換えることができます。このとき湯温によっては沸とうに入ることがあります。
- アルカリイオン水を使用すると樹脂部が黄変する場合があります。

お願い
- 沸きあがり後湯温が下がっている途中で給水をしないでください。沸とうせずに設定温度になることがあります。

空だき防止について

過熱による故障を防ぐために、空だきの状態（例えば水を入れずに通電）を検知すると、ヒーターへの通電を止め、「ピピピ・ピピピ・ピピピ」とブザーが鳴り表示が点滅してお知らせします。

水を入れて を押す

- 空だきを繰り返すとフッ素樹脂の変色やハガレの原因になります。

注ぐ

⚠警告

禁止

ポットを転倒させたり、傾けない
ゆすったり、強い振動（特に上下の振動）や衝撃を加えない
ふたを持って移動しない
注ぎ口や蒸気口などから湯が流れ出て、やけどをする原因になります。

1 ロック解除 を押してロックを解除する

▶ ロック解除ランプが点灯
- 約2分間ロックが解除され、湯を注ぐことができます。約2分たつと自動的にロックします（ロック解除ランプが消える）。

2 ドリップ出湯 か のどちらかを押して注ぐ

- 出湯量は2段階です。用途に合わせてお選びください。
  ドリップ出湯：コーヒーをドリップするときや小さなカップに少しずつ注ぐときに
  出　湯　：料理の下ごしらえなどでたくさんの湯を注ぐときに
- 1杯目の湯はぬるくなることがありますので、コーヒーをドリップする場合は出始めの湯は使わないようにしてください。
- 湯の量が給水目盛まで減る前に水をつぎたしてください。湯量が少ないまま保温していると沸とうに切り換わることがあります。

注ぎ終わってすぐロックしたいときは

をもう一度押してください。

再沸とう/カルキ抜き/タイマー

保温中に湯を再沸とうさせる

を1回押す

▶ 沸とうランプが点灯

● 再沸とうまでの時間（湯量：満水/室温：20℃）
「98」保温：約2～6分
「90」保温：約7～8分
「60」保温：約12～14分

カルキ臭を少なくする

を湯沸かし中は1回、保温中は2回押して
カルキ抜き表示（◀）を点灯させる

▶ 沸とうランプが点滅し、カルキ抜き表示（◀）が点灯

● 約3分間沸とうを続けて、湯のカルキを減らします。

沸とうに戻すときは

をもう一度押してください。

お知らせ

● 再沸とう/カルキ抜きを始めると途中で保温に戻せません。終了すると自動的に保温になります。

タイマーの設定

湯を低い温度で保温しておき、設定した時間を経過すると自動的に選んでおいた保温温度に戻ります。おやすみ前やお出かけの際にご利用いただくと、「98」「90」保温に比べて電気代が節約できます。「60」保温からのタイマー設定はできません。

保温温度が「98」または「90」のときに

を押して希望の時間を表示させる

▶ タイマー表示（◴）が点滅

● 押すたびに、4→6→8→10→取消（温度表示）
の順で設定時間が表示されます。タイマー終了までの残り時間を1時間単位で表示します。

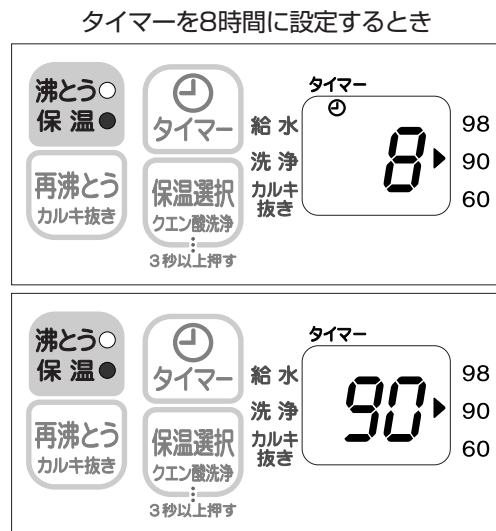
▶ タイマー表示（◴）が点滅から点灯に変わり、保温ランプが点灯

希望時間経過後

▶ タイマー表示（◴）が消え、湯温表示に切り換わり、湯沸かしを開始
選んでおいた保温温度になると、ブザーでお知らせ

タイマーを8時間に設定するとき

タイマーを取り消すときは

タイマーを「10」を表示するまで押し、さらに1回押してください。保温または沸とうに切り換わります。

お手入れのしかた

⚠警告

水ぬれ禁止

ふたや本体は水につけたり、水をかけたりしない
丸洗いしたり、流し台などで底面をぬらしたり、底面がぬれたまま本体をさかさにしたりしない
コードセットは絶対にぬらさない
ショート・感電・故障の原因になります。

⚠注意

冷えてから行う

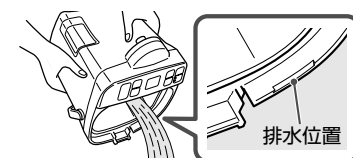
お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどをする原因になります。

お使いにならないとき

1 コードセットをはずし、冷えてからふたをはずす

● ふた開閉レバーを持ってふたを約60°に開き、ふた着脱レバーの凸部を押しながら斜め上に引き抜いてください。

2 排水位置から残り湯を捨てる

● 操作部側から残り湯を捨てないでください。
● ふたの取り付けは1の逆の手順で行ってください。

日常のお手入れ

出湯口カバー

やわらかいスポンジで水洗いした後、よくしぼったふきんでふきます。
（取り付けかた／はずしかたは5ページ参照）

容器

こまめにスポンジでこすり、水ですすぎます。
1～3か月に1回、クエン酸洗浄をします。
（13ページ参照）

フィルター

容器の底に付いています。
引き抜いてはずし、ブラシで洗います。挿入部に付着した水アカもきれいに取り除いてください。
取り付けるときは確実に押し込みます。

本体・ふた

よくしぼったふきんでふきます。

お願い

● ベンジン・シンナー・クレンザー・たわしなどを使わないでください。表面やフッ素樹脂加工をいためます。
● 食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使わないでください。変形の原因になります。
● 洗剤を使わないでください。においの原因になります。
● 容器の汚れ（水アカなど）はこまめにお手入れしてください。汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。
● 長期間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてください。

（つづく）

容器の水アカ（変色）や白い浮遊物について

- ●白い浮遊物（ミネラル分の結晶）
- ●乳白色、黒色、虹色などの変色
- ●赤さび状のはん点（もらいさび）
- ●ざらつき

左の例は、加熱することによって水に含まれるミネラル分などが析出し、容器に付着したりする現象で容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のハガレではありません。
衛生上問題はありませんが、定期的にクエン酸でお手入れしてください。
＊ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは容器が変色したり、水アカが発生しやすくなります。

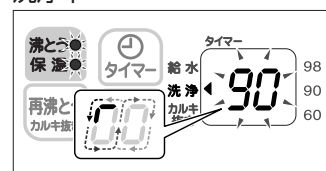
クエン酸洗浄のしかた

1 容器に満水目盛まで水を入れ、約50gのクエン酸を入れてふたをする

2 コードセットを接続し、

保温選択 クエン酸洗浄 を3秒以上押す
3秒以上押す

▶ 洗浄表示（◀）が点滅から点灯に変わり、洗浄を開始
- 押すと保温表示（▶）の位置が移動しますが、そのまま押し続けてください。
- 洗浄時間は約90分です。終了後はヒーターへの通電を止めます。

洗浄中

▶ 保温ランプと沸とうランプが点滅し、LCD表示が回転しながら洗浄終了までの残り時間を分単位で点滅表示

終了

▶ 保温ランプ、沸とうランプと表示が早い点滅に変わり、「ピーピーピーピーピー」とブザーでお知らせ

3 コードセットをはずして湯を捨て、容器の汚れをこすり落とし、水ですすぐ
- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄を行ってください。

4 クエン酸のにおいを取るために、水だけを満水目盛まで入れ保温温度「98」を選んで沸かし、湯を捨てる （湯の沸かしかたは7ページ、捨てかたは11ページ参照）

お願い
- 必ず水から洗浄を始め、湯を使用しないでください。
- 満水目盛以上の水を入れないでください。
- 当社の保温ポット洗浄用クエン酸以外は使わないでください。
- クエン酸洗浄の湯は飲まないように注意してください。

お知らせ
クエン酸洗浄が終了してそのままコードセットをはずすと、次回コードセットを接続したときクエン酸洗浄の終了状態を記憶しています。
解除するには保温選択/クエン酸洗浄キーを押してください。

洗浄用クエン酸は、東芝製品取扱店でお買い求めください。

部品コード：32389024
100g入り……315円（税込：2005年1月現在）

※洗浄用クエン酸は、食品添加物につき、食品衛生上無害です。

消耗部品について

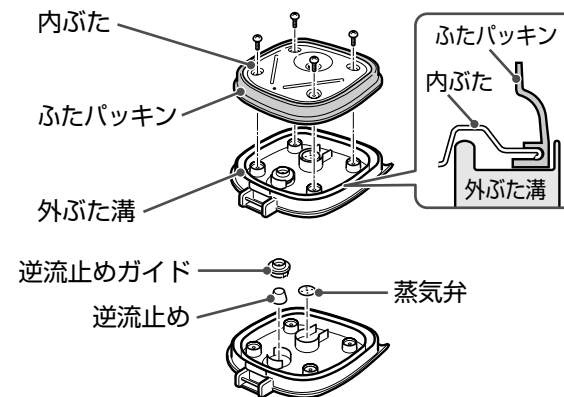
お買い上げの販売店でお買い求めください。

ふたパッキンの交換

キレツが発生したり、汚れや傷みが目についたら、ふたパッキンを取り替えてください。湯もれや蒸気もれの原因になります。

1 ネジ4本をはずし、内ぶたをはずして、ふたパッキンを取り替える

2 逆流止めや蒸気弁がはずれた場合は、図の位置にセットする

3 内ぶたのふたパッキンの縁を外ぶた溝の内側に確実にはめ込んでから、ネジで取り付ける

部品名：ふたパッキン　　部品コード：32319456

フィルターの交換

ブラシやクエン酸で洗っても水アカが取れなくなったら取り替えてください。

部品名：フィルター　　部品コード：32380033

仕様

形名	PLK-25FJ	PLK-30FJ
電源	交流100V　50-60Hz共用	
消費電力	湯沸かし　900W 保温時消費電力（平均） 「98」保温時：46W 「90」保温時：36W 「60」保温時：20W	湯沸かし　900W 保温時消費電力（平均） 「98」保温時：48W 「90」保温時：38W 「60」保温時：23W
容量	2.5L	3.0L
出湯方式	電動出湯式	
外形寸法（ハンドルを倒した状態）	幅22.4cm×奥行30.4cm×高さ22.5cm	幅22.4cm×奥行30.4cm×高さ24.3cm
質量（コードセットを含む）	約2.6kg	約2.8kg
温度ヒューズ	152℃および157℃	
コードの長さ	1.2m	

- 特定地域（高い山、極寒地など）においては、所定の性能が確保できないことがあります。
- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

故障かな？と思ったとき

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

このようなとき	お調べいただくこと/処置のしかた
湯が沸かない	● コードセットがはずれていませんか。→コードセットを接続してください。 ● マグネット式プラグに金属片などが付いていませんか。 →電源プラグを抜いてから付着物を取り除いてください。 ● 保温ランプ、沸とうランプおよび表示部「00」が点滅していませんか。 →12ページのお知らせを確認して、クエン酸洗浄を解除してください。
湯が出ない	● ロック解除ランプが消灯していませんか。 →ロック解除キーを押してロック解除ランプを点灯させてください。 ● コードセットがはずれていませんか。→コードセットを接続してください。
湯が自然に出る	● 満水目盛以上の水を入れていませんか。→水を減らしてください。
湯がにおう	● 水道水に含まれる消毒用塩素が残ってにおうことがあります。 →カルキ抜きを繰り返すことにより、減少します。 ● 使い始めは樹脂などのにおいがすることがあります。→ご使用に伴いなくなります。
湯に白いものが浮く 容器が汚れていたり、壁面がはがれたように見える	● 水アカが容器に付着したものが、はがれたものです。 →容器をお手入れしてください（11～12ページ参照）。 ● ミネラル分の多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル分が結晶となり白く見えることがありますが有害ではありません。
湯がぬるい	● 一杯目、特に少量の湯を注いだときは多少ぬるくなることがあります。 ● 保温温度が「90」や「60」設定になっていませんか。 →保温選択／クエン酸洗浄キーでお好みの保温温度を選んでください（8ページ参照）。 ● タイマー設定になっていませんか。 →タイマーを「10」を表示するまで押し、さらに一回押して取消してください。
湯が出にくい	● フィルターが目づまりしていませんか。 →フィルターをお手入れしてください（11ページ参照）。 ● 沸とう直後は出にくいことがあります。→しばらくおいてから湯を注いでください。
湯沸かし時の音が大きくなる	● 容器底面に水アカが付着したためです。 →容器をお手入れしてください（11～12ページ参照）。
本体外側が熱い	● 高温保温を続けるため、室温が高いと本体外側が熱くなりますが、異常ではありません。
ランプが点滅する	● 保温ランプと沸とうランプが交互に点滅し、表示部に「C11」と給水表示（◀）が点滅表示する。 →空だきのお知らせです。水を入れて再沸とう／カルキ抜きキーを押してください。 ● 表示部に「00」が表示されて点滅し、保温ランプと沸とうランプが点滅する。 →クエン酸洗浄モードになっています。保温選択/クエン酸洗浄キーを押して通常モードにもどしてください。 ● 保温ランプが点滅する。 →クエン酸洗浄中は保温ランプが点滅しています。12ページのクエン酸洗浄のしかたをお読みください。 ● 沸とうランプが点滅する。→カルキ抜き中やクエン酸洗浄中は沸とうランプが点滅しています。

上記にしたがって調べていただいても原因が分からないときやその他の異常や故障があるときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
※樹脂部品は数年間ご使用いただきますと、傷んでいることがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は　お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店に修理のご相談ができない場合
東芝家電修理ご相談センター
フリーダイヤル 0120-1048-41
携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

電話で 24時間 365日 お応えします

お買い物・お取り扱いのご相談
東芝家電ご相談センター
フリーダイヤル 0120-1048-86
携帯電話・PHSからのご利用は　03-3426-1048
FAX　03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）

- 「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から1年間です。**
  ただし、消耗部品は保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- 電気保温ポットの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

- 14ページに従って調べていただき、なお異常があるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ		
	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）

長年ご使用の電気保温ポットの点検をぜひ！

愛情点検

このような症状はありませんか。

- ご使用中コードや電源プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- いつもより異常に熱くなったりコゲくさいにおいがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 容器から水がもれる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝電気保温ポット保証書

持込修理

<table>
<tr><td colspan="2">形名</td><td colspan="3">PLK-25FJ・PLK-30FJ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">★お客様</td><td>お名前</td><td colspan="3">ふりがな
様</td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td colspan="3">〒□□□-□□□□</td></tr>
<tr><td>電話</td><td>市外</td><td>市内</td><td>番号</td><td>呼</td></tr>
<tr><td>保証期間</td><td>本体</td><td>1年</td><td colspan="2">★お買い上げ日
年　月　日から</td></tr>
<tr><td colspan="2">★ご販売店</td><td colspan="3">住所・店名
電話</td></tr>
</table>

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝コンシューママーケティング株式会社 家電事業部　クッキングハウスホールドクリエーション部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）　電話（03）3257-6163

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
   （ト）ご使用による容器の汚れ、キズ。
   （チ）消耗部品の交換。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝家電修理ご相談センターへご相談ください。

修理メモ 修理年月日	修　理　内　容	担当
年　月　日		
年　月　日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝コンシューママーケティング株式会社
家電事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

THT-CHTT(TAB)-1